

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年4月12日

Nature:論説：新型コロナ感染で糖尿病が増える：大規模調査

## 【松崎雑感】

白人中年者で、肥満者の多い集団では、新型コロナ感染者の100人に1人が新たに糖尿病となるというデータです。1億人が感染すると100万人の糖尿病患者が発生することとなり、世界全体の医療へのインパクトはとて大きくなります。新型コロナ感染が、体全体に炎症性変化をもたらすことを考えるならば、その結果として、糖尿病が増えることは十分予想されます。

## 新型コロナ感染で糖尿病が増える：大規模調査

Watson C. **Diabetes risk rises after COVID, massive study finds** [published online ahead of print, 2022 Mar 31]. **Nature**. 2022;10.1038/d41586-022-00912-y. doi:10.1038/d41586-022-00912-y

軽症感染でも糖尿病リスクが増加する。特に耐糖能異常を持っていた人々に

およそ20万人の人々を対象とした調査で、新型コロナ感染から1年後に糖尿病リスクが高まることが分かった[1]。

この研究はLancet Diabetes & Endocrinologyの今月号に掲載された[2]。同様の研究は数多くある。

「このパンデミックは終息後に多くの慢性疾患を後遺症としてもたらすだろう」と論文の共著者セントルイス退役軍人医療システムの主任研究員ジャド・アルアリ氏は語る。

## リスク増幅

アルアリ氏と疫学者ヤン・シー氏は新型コロナサバイバー18万人の医療記録を調査した。比較対照群は、パンデミック以前と以降の退役軍人医療センター患者それぞれ400万人とした。この集団は、これまで新型コロナによる腎臓病リスク、心不全リスク、脳卒中リスクの解析にも使用されている[3,4]。

新型コロナサバイバーでは、感染から1年後の糖尿病リスクは、非感染者よりも40%高くなっていることが分かった。絶対リスクで見ると、コロナサバイバー1000人から13人余計に糖尿病となる人々が出ていたことになる。ほとんどすべてが、自己のインスリンの効果が落ちて発症する2型糖尿病だった。

新型コロナが重症となるほど、糖尿病リスクが高まっていた。入院あるいはICU治療の必要なサバイバーは、そうでないサバイバーの3倍糖尿病リスクが高くなっていた。

しかし軽症感染者あるいは以前糖尿病になりやすいリスクを持っていた人々でも、感染後発病リスクが増えていた。入院に至らなかったコロナサバイバーでも、1年後に非感染者と比べて1000人あたり8人余計に糖尿病を発症していた。BMIの高かった人々では、糖尿病リスクが2倍となっていた。

## 世界全体へのインパクト

メルボルンのベイカー心臓糖尿病研究所疫学者ジョナサン・ショウ氏は、世界全体で少なくとも4億8千万人の新型コロナサバイバーがいることを考えると、感染者の1%が新たに糖尿病を発症するとすれば、世界的には糖尿病患者の激増をもたらすと語る。

しかし今回の研究結果を世界全体に当てはめることはできないかもしれない。

米国の退役軍人は高齢の白人で高血圧、肥満を持つ者が多いため、糖尿病発症リスクが高い集団であり、若い年齢層の人々では、それほど糖尿病リスクは高まらないだろうとオーストラリアのウロンゴン大学糖尿病疫学専門家ギデオ・マイエロヴィッツ＝ガッツ氏は語っている。

アルアリ氏は、新型コロナと診断されなかった集団に、無症状あるいは軽症の感染者がある程度存在している可能性があることは、調査結果にある程度の歪みをもたらしているだろうと考えている。

さらに、新型コロナに感染しなければ、糖尿病であることを発見されなかったはずのコロナサバイバーも多く含まれていただろうとショー氏は述べている。

## メカニズムは何か？

コロナパンデミックが始まった頃、新型コロナウイルスに感染した小児や若者において、膵臓のインスリン分泌細胞が侵されて、1型糖尿病を発症する者が増えるのではないかと懸念が起きた。

しかし、この点については様々な報告があり、一致した結論が出ていない。いくつかの疫学調査でも、膵臓のインスリン分泌能を調査した研究でも、新型コロナ感染が1型糖尿病を増やすという所見は見つかっていない[5~8]。

感染から1年後に糖尿病を発症した人々がその後どうなるか、追跡調査が必要である。

ショー氏は、一般人口レベルで追跡を行い、新型コロナ後の糖尿病増加メカニズムを明らかにする研究が必要だと述べている。